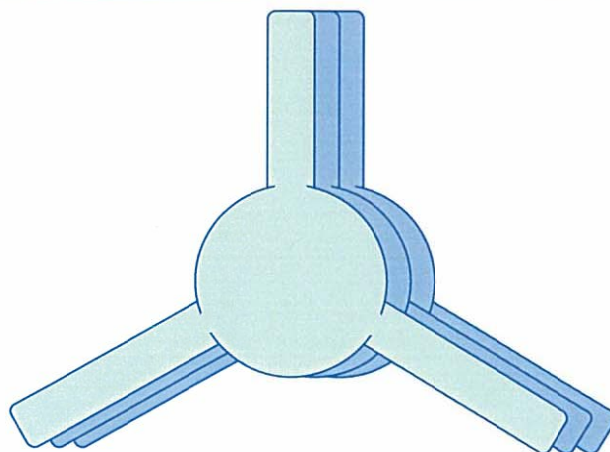


放射性物質検査用濾紙

スミヤ濾紙撥水タイプ



スミヤ濾紙撥水タイプは、原子力施設のオペレーションフロアでの使用を考慮して作られた放射性物質の検出用濾紙です。撥水性に優れ、プール等に落下しても、沈降しない特徴を持っています。

スミヤ濾紙撥水タイプの特性

特性1 撥水性

スミヤ濾紙撥水タイプは、濾紙に専用の撥水処理を施しており、耐久性、耐水性に優れています。撥水度が高く、プール等に落下しても水面に浮かぶので、オペレーションフロアなど、水周りでの作業に適した特徴があります。

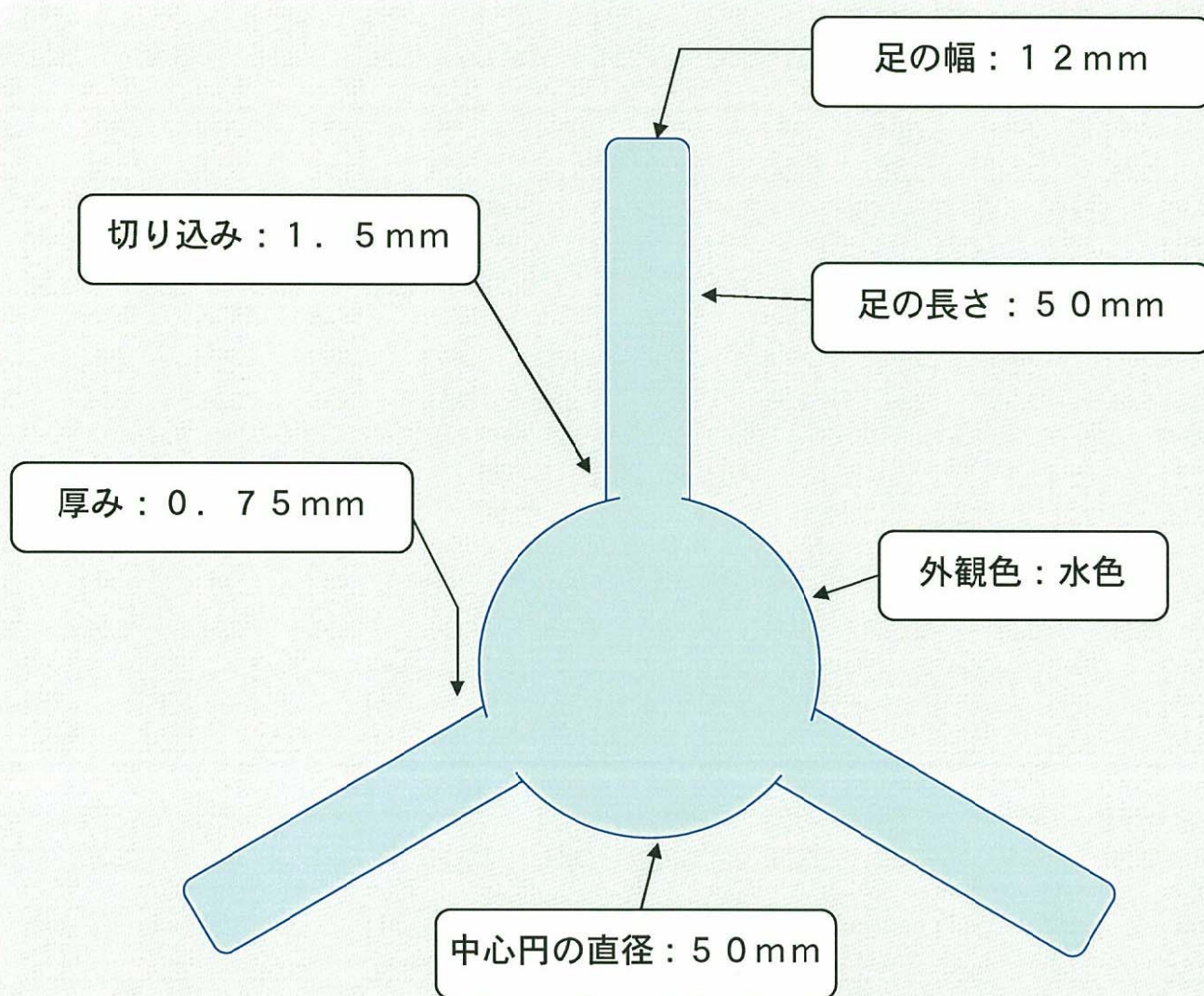
特性2 作業特性

スミヤ濾紙撥水タイプは、製品の厚みを除き、従来のスミヤ濾紙とサイズ、形状に差異がありませんので、従来品と同様の使用が可能です。また、水色のカラーペーパーを採用していますので、従来品（白色）と使い分ける際の確認が容易です。

スミヤ濾紙撥水タイプの製品データ

1 : 製品の外寸・外観

スミヤ濾紙撥水タイプの外寸・外観は下図記載のとおりです。



備考

- 1 : 上記の図は、ほぼ原寸大のサイズです。
- 2 : 記載された数値は、基準値になります。
- 3 : 足の付け根に切り込みを入れ、作業性を向上させております。

2 : スミヤ濾紙撥水タイプの濾材・撥水性能

透気度 : 74.6 Sec
破裂強度 : 858 kPa
撥水度 : R2

- 透気度 濾紙に一定の圧力の空気を300cc通過させるのに、かかる時間を測定しています。
- 破裂強度 ゴム膜で濾紙に力を加え、破断した時の強度を測定しています。
- 撥水度 45度に傾斜した紙の表面に滴下した水滴の状態を表わされます。
R2とは、連続した跡であって水滴よりわずかに狭い幅を示すもの

3 : スミヤ濾紙撥水タイプの浮沈性能

従来のスミヤ濾紙との浮沈試験比較

時間	状態	
	従来のスミヤ濾紙	スミヤ濾紙撥水タイプ
投入直後	浮遊	浮遊
1分後	沈降	浮遊
30分後	沈降	浮遊
60分後	沈降	浮遊
3時間後	沈降	浮遊
6時間後	沈降	浮遊
12時間後	沈降	浮遊
24時間後	沈降	浮遊

試験方法：上記2種の濾紙を水5Lが入った水槽に同時に投入し、定められた時間毎に浮沈状態を確認。

備考：本資料に記載されたデータは測定値であり保障値ではありません